

What's VICTORIAN SEGMENT

「科学・技術への関心」が異なる6つのグループ

オーストラリア・ヴィクトリア州政府によって開発された、人々を「科学・技術への関心*1」が異なる6つのグループ（専門的には、セグメントという）に分ける方法のことです。「科学・技術への関心」が高い順に、セグメント2、3、1、6、4、5となっています*2。6つのセグメントは、「Q1. 科学・技術に関心がありますか?」、「Q2. 科学・技術に関する情報を積極的に調べることはありますか?」、「Q3. 過去、科学・技術に関する情報を調べた際に、探している情報を見つけることができましたか?」の3つの質問への回答の組み合わせで決まります（右図）。

脚注

*1 単に科学・技術に関心を持つだけでなく、能動的に科学・技術の情報を探索することまでを含めた、広い意味で用いています。

*2 セグメントの番号と「科学・技術への関心」の高さは一致していません。セグメントを作成する過程において、セグメント番号が機械的に割り振られたためです。

*3 きっかけがあれば科学・技術へ関心を持つようになり、情報を積極的に調べるようになる可能性があります。

*4 PESTIは、科学技術イノベーションに対する国民のニーズを反映した政策形成を目指し、京都大学、大阪大学、神戸大学、滋賀大学、鳥取大学、帝塚山大学の6大学に所属する研究者らが、2012年に始めた研究開発プロジェクトです。独立行政法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）が実施する「戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）：科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」の一つとして、また文部科学省が進める「科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業」（SciREX=サイレックス）の一部としても位置づけられています。

また、セグメント2と3を合わせて「科学・技術への関心層」、セグメント1と6と4を合わせて「科学・技術への潜在的関心層*3」、セグメント5を「科学・技術への低関心層」としました。

PESTI*4が2013年12月に実施した世論調査の結果から、関心層、潜在的関心層、低関心層はそれぞれ16.1%、61.4%、22.6%であることがわかっています。

参考文献

1) 加納圭、水町衣里、岩崎琢哉、磯部洋明、川人よし恵、前波晴彦（2013）「サイエンスカフェ参加者のセグメンテーションとターゲットング：「科学・技術への関心」という観点から」、*科学技術コミュニケーション*、13、3-16 <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/52850>

2) Kano K. (2014) Toward Achieving Broad Public Engagement with Science, Technology, and Innovation Policies: Trials in JAPAN Vision 2020. *International Journal of Deliberative Mechanisms in Science* 3 (1): 1-23 <http://hipatiapress.com/hpjournals/index.php/demesci/article/view/1196>

3) 後藤崇志、水町衣里、工藤充、加納圭（2014）「科学・技術イベント参加者層評価に豪州発セグメンテーション手法を用いることの有効性」、*科学技術コミュニケーション*、15、17-35 <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/56441>

4) 後藤崇志、水町衣里、工藤充、加納圭（2015）「パブリックエンゲージメント参加者層の多様性評価手法の探索：「科学・技術への関与度」と「政策への関与度」の観点から」、*科学技術コミュニケーション*、17、3-19 <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/59575>

Q1

科学・技術に関心がありますか？
以下の選択肢の中から最も近いものを1つだけお答え下さい。

- 1 とても関心がある
- 5 全く関心がない
- 2 関心がある
- 6 わからない
- 3 関心があるともないとも言えない
- 4 関心がない

Q2

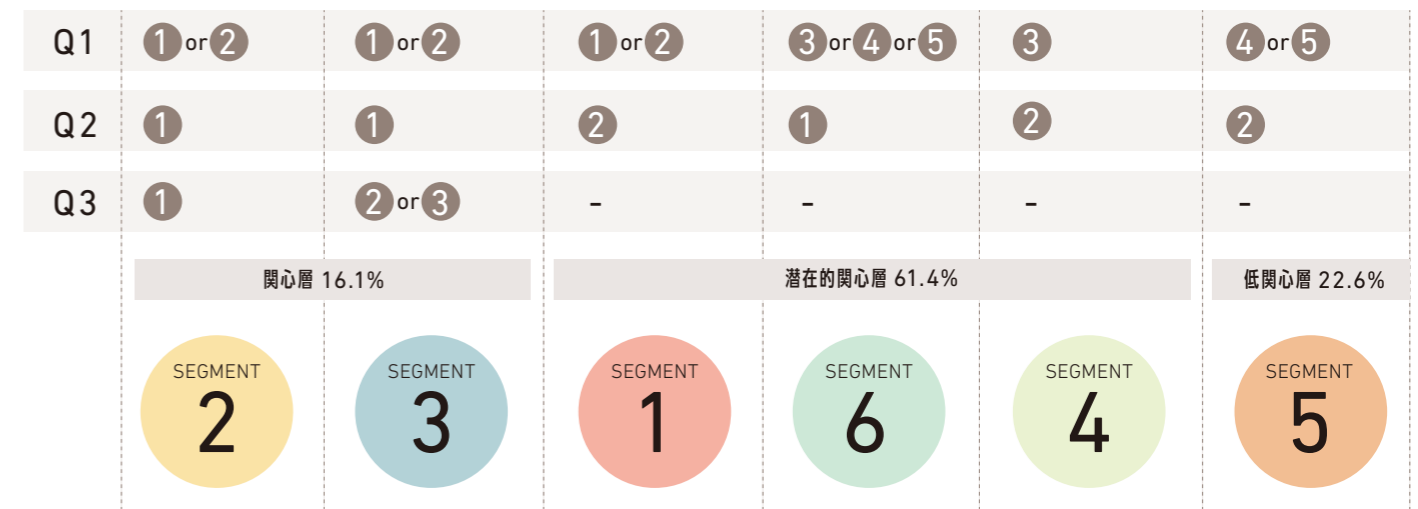
科学・技術に関する情報を積極的に調べることはありますか？

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

Q3

過去、科学・技術に関する情報を調べた際に、探している情報を見つけることができましたか？
以下の選択肢の中から最も近いものを1つだけお答え下さい。

- 1 見つめられた。大抵、その内容は容易に理解できる。
- 2 見つめられた。しかし、ほとんどの場合、この内容を理解することは難しい。
- 3 見つめられなかった。ほとんどの場合、探している情報は見つめられない。
- 4 わからない

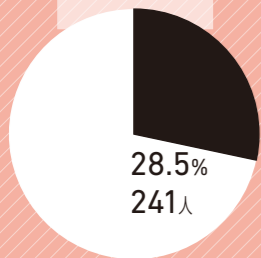


VICTORIAN SEGMENT

1

0

科学・技術への
潜在的関心層



現在の職業について



④ その他の無職(無職) 18.7%+

これまでで一番長く働いていた職業について



④ 農林水産業(自営業者) 3.0%+

地域ブロックについて



④ 関東在住 34.0%+
④ 東海在住 7.9%-

地方自治体

ふだん科学技術に関する情報を得ている媒体について



④ テレビ 89.6%+
④ ラジオ 18.3%+
④ 企業の宣伝イベント、広告、カタログ 18.7%+

重要な科学・技術の問題の政策形成について



④ 影響力をもつべき 70.1%+

日本の国や国民全体にとって重要な政策項目



④ 年金政策 96.3%+
④ 環境政策 92.5%+
④ 観光政策 59.8%+
④ 文化・スポーツ政策 66.8%+
④ 教育政策 91.3%+

国民として科学・技術の進歩をリードしてくれると安心できる人・組織・共同関係



④ 大学 73.4%+
④ 地方自治体 51.9%+
④ 科学者 75.1%+
④ 政府 53.5%+
④ 日本の大企業 58.5%+
④ 国と国民が協力して 66.4%+
④ 国と大企業が連携して 65.6%+
④ 国立・公立研究所と大企業が連携して 71.4%+

④ 項目名 XX%+
他のセグメントに比べ多い
④ 項目名 XX%-
他のセグメントに比べ少ない

信頼できる科学・技術の情報をもたらす組織や人について



④ 政府 47.3%+
④ 日本の大企業 52.3%+
④ 日本政府 50.6%+

政策担当者の立場となって回答する中で感じたり、考えたりしたこと

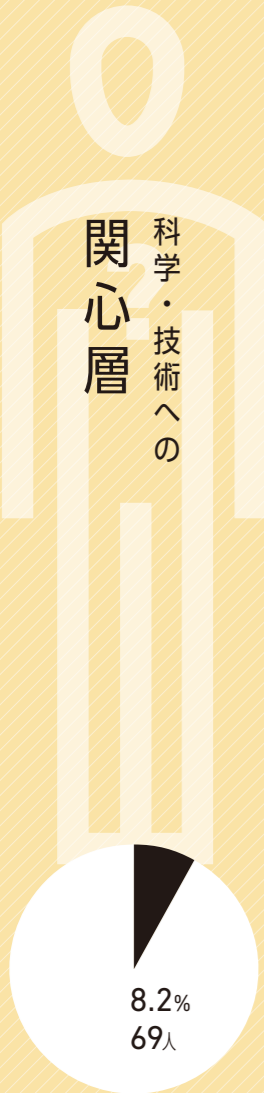


④ どれも必要な政策だ 39.4%+
政策担当者というより個人的な関心で
④ 配分してしまったとは思わ「ない」 17.4%+

VICTORIAN SEGMENT

2

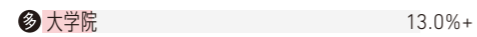
科学・技術への
関心層



性別・年代別として



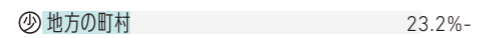
最終学歴について



専門分野について



15歳くらいまで おもに過ごしたところ



現在の職業について



これまでで一番長く 働いていた職業について



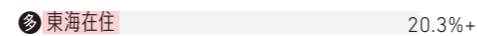
過去1年間の 世帯年収について



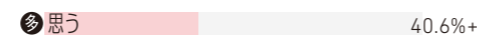
調査結果冊子郵送の 希望



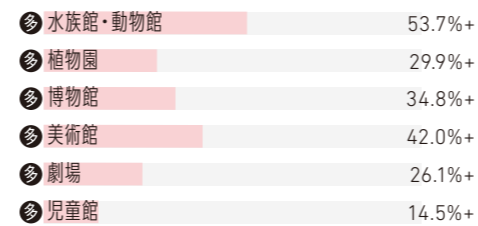
地域ブロックについて



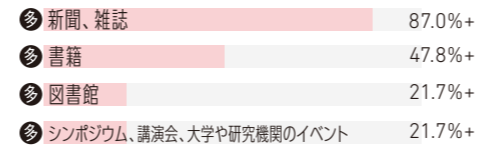
自分自身が 流行に敏感だと 思う



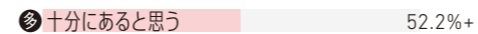
過去1年間のうちに、 余暇を利用して足を 運んだことのある施設



ふだん科学技術に関する 情報を得ている 媒体について



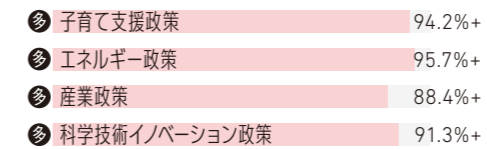
科学技術への 関心と理解を 深める機会や場について



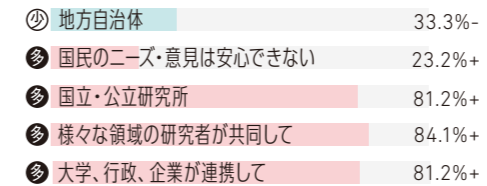
新しい技術や製品について



日本の国や 国民全体にとって 重要な政策項目



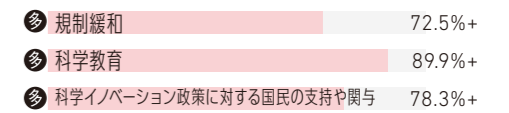
国民として科学・技術の進歩を リードしてくれると 安心できる 人・組織・共同関係



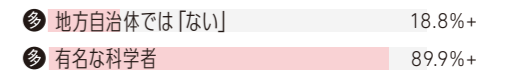
項目名 XX%+
他のセグメントに比べ一番多い

項目名 XX%-
他のセグメントに比べ一番少ない

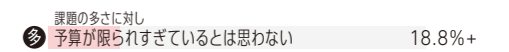
科学技術イノベーションを 促進すると 思うことについて



信頼できる科学・技術の 情報をもたらす 組織や人について



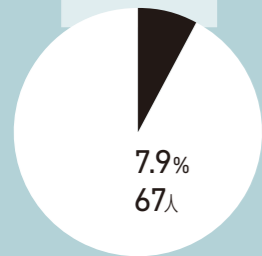
政策担当者の立場となって 回答する中で感じたり、 考えたりしたこと



VICTORIAN SEGMENT

3

科学・技術への
関心層



最終学歴について



④ 大学(及び旧制高校) 43.3%+

15歳くらいまで おもに過ごしたところ



④ 大都市の郊外または近郊 17.9%+

都市規模について



④ 小都市在住 35.8%+

過去1年間のうちに、 余暇を利用して足を 運んだことのある施設



④ 図書館 53.7%+
④ 科学館 38.8%+

ふだん科学技術に関する 情報を得ている 媒体について



④ 科学館・博物館 19.4%+

新しい技術や製品について



④ 誰よりも先に試してみる 20.9%+

日本の国や 国民全体にとって 重要な政策項目



④ 子育て支援政策ではない 9.0%+
④ 暮らしの安心・安全政策ではない 6.0%+
④ 情報通信政策 89.6%+

国民として科学・技術の進歩を リードしてくれると 安心できる 人・組織・共同関係



④ 大学 88.1%+

科学技術イノベーションを 促進すると 思うことについて



④ 科学技術イノベーションで大きく成功した企業の増加 77.6%+

信頼できる科学・技術の 情報をもたらす 組織や人について

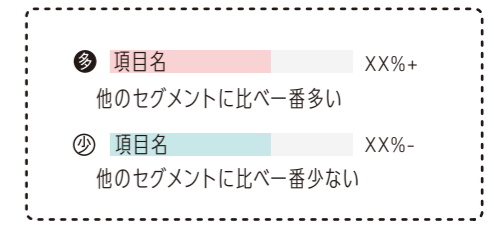


④ 大学 85.1%+
④ 世界のグローバル企業 67.2%+

政策担当者の立場となって 回答する中で感じたり、 考えたりしたこと



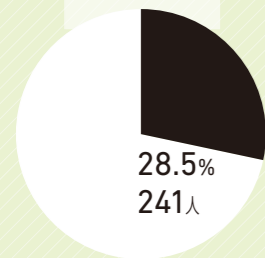
④ 人材に重点的に配分すべきだ 68.7%+
④ 未来をみて配分すべきだ 92.5%+
④ 日本の抱える課題が多すぎるとは思わない 14.9%+



VICTORIAN SEGMENT

4

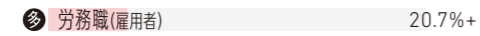
科学・技術への
潜在的
関心層



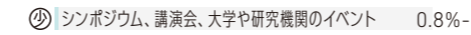
年代別として



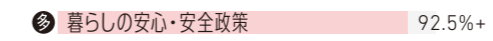
現在の職業について



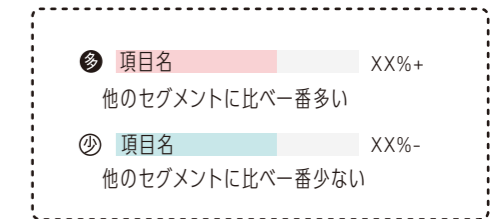
ふだん科学技術に関する 情報を得ている 媒体について



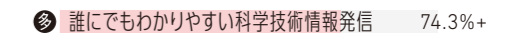
日本の国や 国民全体にとって 重要な政策項目



国民として科学・技術の進歩を リードしてくれると 安心でき「ない」 人・組織・共同関係



科学技術イノベーションを 促進すると 思うことについて



VICTORIAN SEGMENT

5

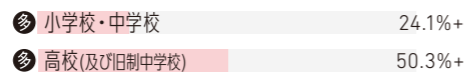
科学・技術への
低関心層



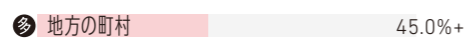
性別・年代別として



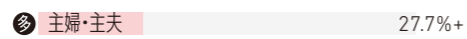
最終学歴について



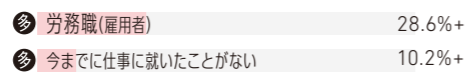
15歳くらいまで おもに過ごしたところ



現在の職業について



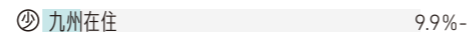
これまでで一番長く 働いていた職業について



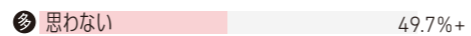
調査結果冊子郵送を



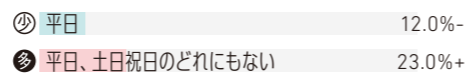
地域ブロックについて



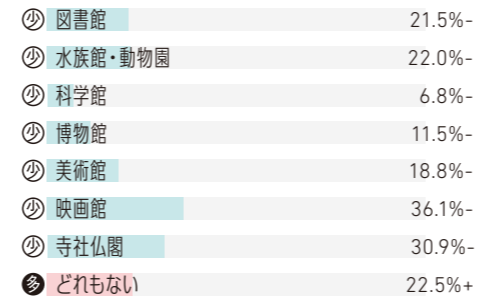
自分自身が 流行に敏感だと



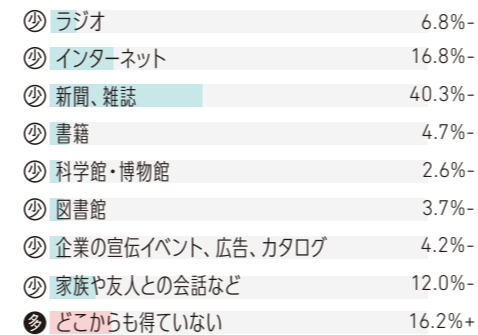
趣味や習い事や レジャーなどの 余暇活動にあてる ことのできる時間



過去1年間のうちに、 余暇を利用して足を 運んだことのある施設



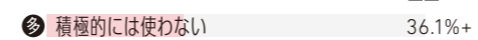
ふだん科学技術に関する 情報を得ている 媒体について



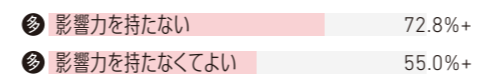
科学技術への 関心と理解を 深める機会や場について



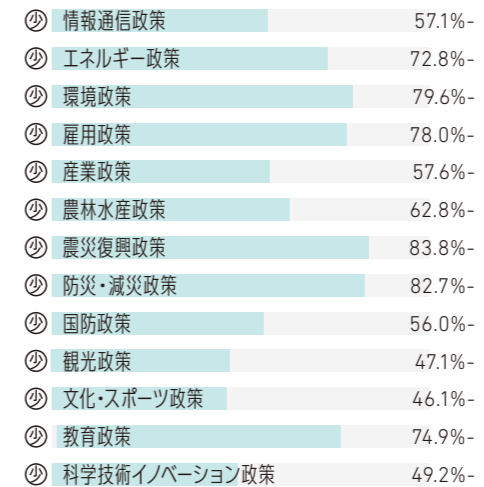
新しい技術や製品について



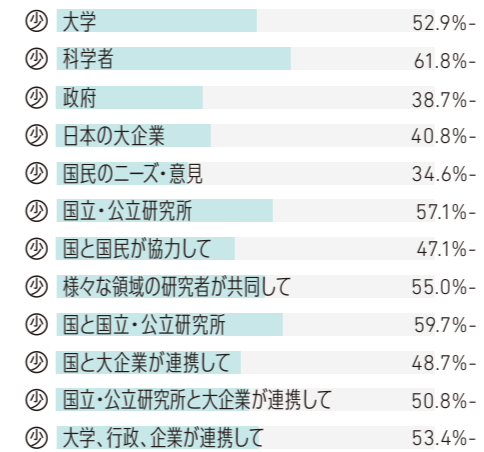
重要な科学・技術の 問題の政策形成について



日本の国や 国民全体にとって 政策項目は何が重要



国民として科学・技術の進歩を リードしてくれると 安心できる 人・組織・共同関係



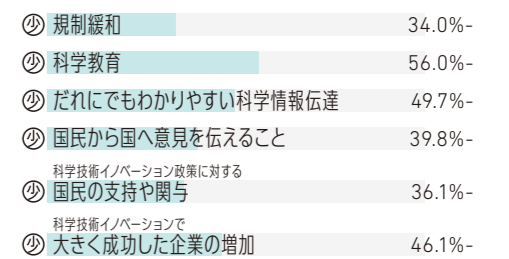
国民として科学・技術の進歩を リードしてくれると 安心でき「ない」 人・組織・共同関係



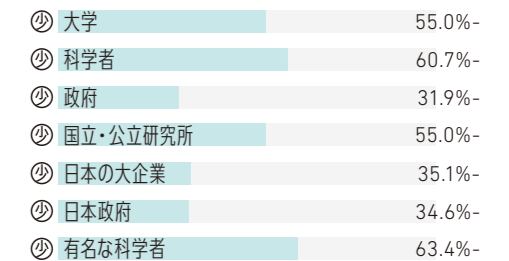
♀ 項目名 XX%+
他のセグメントに比べ一番多い

④ 項目名 XX%-
他のセグメントに比べ一番少ない

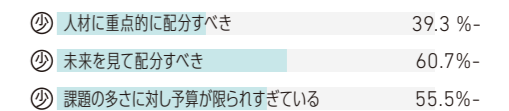
科学技術イノベーションを 促進すると 思うことについて



信頼できる科学・技術の 情報をもたらす 組織や人について



政策担当者の立場となって 回答する中で感じたり、 考えたりしたこと



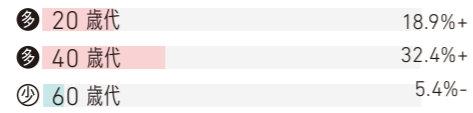
VICTORIAN SEGMENT

6

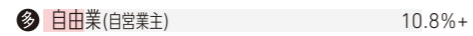
潜在的関心層
科学・技術への

4.4%
37人

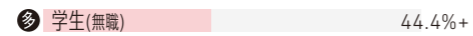
年代別として



現在の職業について



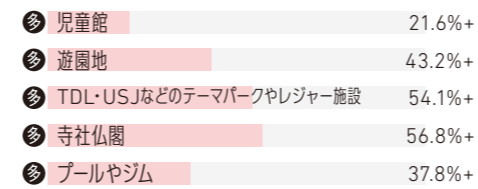
これまでで一番長く働いていた職業について



子どもについて



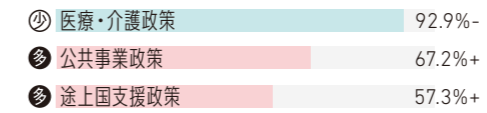
過去1年間のうちに、余暇を利用して足を運んだことのある施設



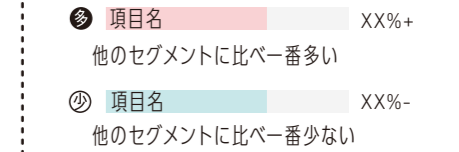
ふだん科学技術に関する情報を得ている媒体について



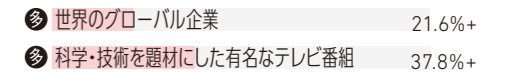
日本の国や国民全体にとって重要な政策項目



国民として科学・技術の進歩をリードしてくれると安心でき「ない」人・組織・共同関係



信頼でき「ない」科学・技術の情報をもたらす組織や人について



政策担当者の立場となって回答する中で感じたり、考えたりしたこと

